

## 令和元年度 第1回 横浜市いじめ問題対策連絡協議会 次第

日時：令和元年6月5日（水） 15:00～

会場：関内駅前第一ビル2階 210会議室

1 教育委員会あいさつ

2 委員紹介

3 会長選出

4 協 議

(1) いじめ問題等に係る各関係機関・団体の取組について [資料 1-1、1-2]

(2) 12月のいじめ防止啓発月間における取組について [資料 2]

(3) その他

### 【次回開催】

令和元年度第2回 横浜市いじめ問題対策連絡協議会

日時 令和元年10月30日（水）15:00～17:00

会場 関内駅前第一ビル 205E 会議室 [資料 4]

	平成30年度活動実績	令和元年度 年間計画(予定)
横浜地方法務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの人権110番（フリーダイヤル0120-007-110）による常設相談</li> <li>申告、情報等に基づく人権侵犯事件立件による調査・救済手続</li> <li>「子どもの人権SOSミニレター」を県内の小中学生に配布し、寄せられた相談ごとに個別対応を実施</li> <li>Jリーグと連携した啓発活動の実施</li> <li>人権教室（未就学児）の実施</li> <li>人権キャラバン（小・中学生に対する人権教室）の開始</li> <li>全国中学生人権作文コンテストの実施</li> <li>とどけよう「絵とことば」のコンテストの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの人権110番（フリーダイヤル0120-007-110）による常設相談</li> <li>申告、情報等に基づく人権侵犯事件立件による調査・救済手続</li> <li>「子どもの人権SOSミニレター」を県内の小中学生に配布し、寄せられた相談ごとに個別対応を実施</li> <li>Jリーグと連携した啓発活動の実施</li> <li>人権教室（未就学児）の実施</li> <li>人権キャラバン（小・中学生に対する人権教室）の開始</li> <li>全国中学生人権作文コンテストの実施</li> <li>とどけよう「絵とことば」のコンテストの実施</li> </ul>
神奈川県警察本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題をテーマとした「非行防止教室」「命の大切さを学ぶ教室」「非行防止・被害防止サミット」及び「高校生による非行防止教室」の開催</li> <li>少年相談活動を通じ、いじめ事案を早期に把握しての対応の実施</li> <li>学校警察連携制度を活用した個々の児童・生徒への指導・支援の実施</li> <li>いじめ加害者、被害者に対する継続補導及び継続的支援の実施</li> <li>事件対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題をテーマとした「非行防止教室」「命の大切さを学ぶ教室」「非行防止・被害防止サミット」及び「高校生による非行防止教室」の開催</li> <li>少年相談活動を通じ、いじめ事案を早期に把握しての対応の実施</li> <li>学校警察連携制度を活用した個々の児童・生徒への指導・支援の実施</li> <li>いじめ加害者、被害者に対する継続補導及び継続的支援の実施</li> <li>事件対応</li> </ul>
横浜市青少年指導員連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市一斉夜間パトロール（7月）、全市統一行動キャンペーン（10～11月）の実施</li> <li>横浜市内の各区・地区青少年指導員（連絡）協議会において、いじめ問題等、青少年が抱える様々な課題に関する研修会を実施するなど、青少年の抱える課題や周囲の環境等の実態把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市一斉夜間パトロール（7月）、全市統一行動キャンペーン（10～11月）の実施</li> <li>横浜市内の各区・地区青少年指導員（連絡）協議会において、いじめ問題等、青少年が抱える様々な課題に関する研修会を実施するなど、青少年の抱える課題や周囲の環境等の実態把握に努める。</li> </ul>
横浜市子ども会連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止啓発の取組として、役員会、区子連長会などの会議議題にいじめ防止関連項目を加えていじめ防止啓発を図った。</li> <li>全国子ども会連合会発行の「人間関係開発のプログラム研究」の中の「子ども会式いじめ対応プログラム」を抜粋して区子連長会を通じ子供会に周知し、啓発を図った。</li> <li>行事等で機会があるごとにできる限りのぼり旗、ポスターなどを掲出し啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止啓発の取組として、役員会、区子連長会などの会議議題にいじめ防止関連項目を加えていじめ防止啓発を図る</li> <li>全国子ども会連合会発行の「人間関係開発のプログラム研究」の中の「子ども会式いじめ対応プログラム」を抜粋して区子連長会を通じ子供会に周知し、啓発を図る</li> <li>行事等で機会があるごとにできる限りのぼり旗、ポスターなどを掲出し啓発を図る</li> </ul>
横浜子ども支援協議会	<p>〈横浜子ども支援協議会の取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハートフルスペース、ルームに通室している児童生徒が、民間の活動への参加することや民間の児童生徒が教育支援センターの活動に参加をするなどの交流行事を実施。</li> <li>あわせて、教育支援センターの職員が民間教育施設に見学を行うイベントや、教育支援センター主催の保護者の集いでファシリテーターや体験発表者を紹介するなど協働を行う。</li> <li>教育支援センターと共同アンケートの実施など。</li> </ul> <p>〈横浜子ども支援協議会 事務局 教育支援協会の取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度同様の取組を継続実施</li> </ul>	<p>〈横浜子ども支援協議会の取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハートフルスペース、ルームに通室している児童生徒が、民間の活動への参加することや民間の児童生徒が教育支援センターの活動に参加をするなどの交流行事を予定（スポーツ医科学センターや芸能鑑賞会、保育体験など）</li> <li>あわせて、教育支援センターの職員が民間教育施設に見学を行うイベントや、教育支援センター主催の保護者の集いでファシリテーターや体験発表者を紹介するなど協働事業を予定。</li> <li>教育支援センターと共同アンケートを予定。</li> </ul> <p>〈横浜子ども支援協議会 事務局 教育支援協会の取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度同様の取組を継続実施予定</li> </ul>
横浜市PTA連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に関する研修の開催（区部P連、単位PTAなどによるものを含む）</li> <li>「いじめ防止市民フォーラム」への参加（横浜市教育委員会）</li> <li>・・・パネリストとして市P連会長、市P連役員及び各区部より代表者が参加</li> <li>「人権啓発講演会」への参加（市民局）・・・市P連役員及び各区部より代表者が参加</li> <li>三行詩コンクールの実施・・・三行詩優秀作品集の配付</li> </ul> <p style="text-align: right;">他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に関する研修の開催（区部P連、単位PTAなどによるものを含む）</li> <li>いじめ防止市民フォーラムへの参加</li> <li>人権啓発講演会への参加</li> <li>三行詩コンクールの実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">他</p>
横浜国立学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内いじめ防止対策委員会での進捗管理</li> <li>学校運営協議会やまちとともに歩む学校懇話会での状況の報告</li> <li>中学校ブロックによる年間を通した「横浜子ども会議」によるいじめの未然防止に向けた子ども主体の取組</li> <li>子どもの社会的スキル横浜プログラムを授業で実施</li> <li>Y-P「学校生活についてのアンケート」の実施と支援検討会</li> <li>学校主催「教職員・PTA・地域による人権研修会」の実施</li> <li>ケータイ・スマホ安全教室（小4年生以上）、非行防止教室（小1～4年生）の実施</li> <li>性被害加害防止のための教育（命の教育、保健学習、学級指導等）</li> <li>校長会生徒指導・児童指導研究会で事例協議（毎月）</li> <li>区専任会、区代表者専任会（毎月）</li> <li>中学校防犯サミットの区単位の実施</li> <li>各区学校経営推進会議における「再発防止策に係る研修」の実施</li> <li>小学校における一部教科分担制の実施（推進校8校）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内いじめ防止対策委員会での進捗管理</li> <li>学校運営協議会やまちとともに歩む学校懇話会での状況の報告</li> <li>中学校ブロックによる年間を通した「横浜子ども会議」によるいじめの未然防止に向けた子ども主体の取組</li> <li>子どもの社会的スキル横浜プログラムを授業で実施</li> <li>Y-P「学校生活についてのアンケート」の実施と支援検討会</li> <li>学校主催「教職員・PTA・地域による人権研修会」の実施</li> <li>ケータイ・スマホ安全教室（小4年生以上）、非行防止教室（小1～4年生）の実施</li> <li>性被害加害防止のための教育（命の教育、保健学習、学級指導等）</li> <li>校長会生徒指導・児童指導研究会で事例協議（毎月）</li> <li>区専任会、区代表者専任会（毎月）</li> <li>中学校防犯サミットの区単位の実施</li> <li>各区学校経営推進会議における「再発防止策に係る研修」の実施</li> <li>小学校における一部教科分担制の実施（推進校16校）</li> </ul>

		平成30年度活動実績	令和元年度 年間計画(予定)
横浜市児童相談所		<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに関する相談及び個別対応の実施 (30年4月～) 新規受付相談件数は30件程度</li> <li>いじめ防止月間における啓発活動の実施 (30年12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに関する相談及び個別対応 (新規受付相談件数は30件程度/年)</li> <li>いじめ防止月間における啓発活動の実施 (30年12月)</li> <li>各区学校専任会への出席、情報共有</li> </ul>
区福祉保健センター		<p>【南区実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童支援、生徒指導専任教諭協議会へ参加 (月1回)</li> <li>小中学校訪問及び意見交換(随時)</li> <li>子ども家庭支援相談業務連絡会 (月1回)</li> <li>東部学校教育事務所地域連携推進担当課長会 (年3回)</li> <li>学校カウンセラー、スクールカウンセラー、教育委員会、区役所の連絡会 (年1回)</li> <li>学校・家庭・地域連携事業による支援</li> <li>子ども食堂などの居場所づくり活動の支援</li> </ul>	<p>【南区計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童支援、生徒指導専任教諭協議会へ参加 (月1回)</li> <li>小中学校訪問及び意見交換(随時)</li> <li>子ども家庭支援相談業務連絡会 (月1回)</li> <li>東部学校教育事務所地域連携推進担当課長会 (年3回)</li> <li>学校カウンセラー、スクールカウンセラー、教育委員会、区役所の連絡会 (年1回)</li> <li>学校・家庭・地域連携事業による支援</li> <li>子ども食堂などの居場所づくり活動の支援</li> </ul>
市民局		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権よこはまキャンペーン</li> <li>全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会</li> <li>人権擁護委員による「人権キャラバン」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ組織と連携した啓発活動 (5月)</li> <li>全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会 (6月～11月)</li> <li>人権擁護委員による「人権キャラバン」 (6月～3月)</li> <li>人権よこはまキャンペーン (7月)</li> </ul>
こども青少年局		<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の健全育成、自立支援施策を進める中で、いじめ問題等についても対応 (例: 青少年指導員、よこはまユースなど) (通年)</li> <li>青少年相談センターにおいて、青少年や家族から様々な悩み (いじめ問題含む) についての相談を受付 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の健全育成、自立支援施策を進める中で、いじめ問題等についても対応 (例: 青少年指導員、よこはまユースなど) (通年)</li> <li>青少年相談センターにおいて、青少年や家族から様々な悩み (いじめ問題含む) についての相談を受付 (通年)</li> </ul>
健康福祉局		<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺対策、こころの電話相談、横浜いのちの電話相談 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺対策、こころの電話相談、横浜いのちの電話相談 (通年)</li> </ul>
教育委員会	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童支援専任教諭の全小学校、義務教育学校への配置</li> <li>小中一貫型カウンセラー配置完全実施 (141ブロック)</li> <li>スクールソーシャルワーカーの配置 (30人) ※統括スクールソーシャルワーカーを各学校教育事務所に配置 (1名ずつ) ※高等学校、特別支援学校担当のスクールソーシャルワーカーを配置 (1名ずつ)</li> <li>不登校児童生徒支援の手引き 全校配布</li> <li>いじめ緊急対応チームによるいじめ事案の進捗管理</li> <li>いじめ認知報告書 書式改訂</li> <li>いじめ防止のための研修実施 (各校)</li> <li>横浜子ども会議の取組 (通年)</li> <li>横浜プログラム活用推進 (通年)</li> <li>いじめ110番事業 24時間365日体制</li> <li>学校課題解決支援事業 (適時)</li> <li>講師派遣によるネットリテラシー教育の推進 (通年)</li> <li>ネットルールづくり (親子間・生徒間) 推進プログラム作成 (通年)</li> <li>ネットトラブル学校支援窓口設置 (通年)</li> <li>学校生活あんしんダイヤル開設時間の延長 (通年)</li> <li>いじめ根絶! 横浜メソッド増補版の配布</li> <li>モデル校による「魅力ある学校づくり」調査研究事業 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童支援専任教諭の全小学校、義務教育学校への配置</li> <li>平成29年度～小中一貫型カウンセラー配置完全実施 (141ブロック)</li> <li>スクールソーシャルワーカーの配置 (39人) ※配置型スクールソーシャルワーカーのモデル実施6ブロック→36ブロック</li> <li>いじめ緊急対応チームによるいじめ事案の進捗管理</li> <li>いじめ認知報告書 書式改訂</li> <li>いじめ防止のための研修実施 (各校)</li> <li>横浜子ども会議の取組 (通年)</li> <li>横浜プログラム活用推進 (通年)</li> <li>いじめ110番事業 24時間365日体制</li> <li>学校課題解決支援事業 (適時)</li> <li>スクールスーパーバイザーの派遣 (適時)</li> <li>講師派遣によるネットリテラシー教育の推進 (通年)</li> <li>ネットルールづくり (親子間・生徒間) 推進プログラム作成 (通年)</li> <li>ネットトラブル学校支援窓口設置 (通年)</li> <li>学校生活あんしんダイヤル (通年)</li> <li>不登校児童生徒への家庭学習支援体制づくり</li> <li>モデル校による「魅力ある学校づくり」調査研究事業 (通年)</li> <li>児童生徒向け「相談カード」、保護者向け「相談リーフレット」改訂</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けスマホケータイリーフレットの配布 (小・中・特別支援学校 1年生)</li> <li>第1回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (4/19)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けスマホ・SNS利用リーフレット改訂・配布 (小・中・特別支援学校 全校児童生徒)</li> <li>第1回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (4/18)</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止のための校長研修 (5/18, 24, 6/1)</li> <li>第2回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (5/17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (5/17)</li> <li>いじめ防止のための校長研修実施 (5/16, 17, 23, 24)</li> </ul>
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回横浜市いじめ問題対策連絡協議会 開催 (6/1)</li> <li>第3回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (6/21)</li> <li>横浜市児童・生徒指導中央協議会 (6/28)</li> <li>相談カード配布 (全児童生徒)</li> <li>子育てに関する相談窓口リーフレット配布 (保護者用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回横浜市いじめ問題対策連絡協議会 開催 (6/5)</li> <li>第3回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (6/20)</li> <li>横浜市児童・生徒指導中央協議会 (6/27)</li> <li>相談カード配布 (全児童生徒用)</li> <li>子育てに関する相談窓口リーフレット配布 (保護者用)</li> </ul>
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (7/19)</li> <li>高校横浜子ども会議 開催 (7/12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校横浜子ども会議 開催 (7/16)</li> <li>第4回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (7/18)</li> </ul>
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (8/16)</li> <li>各区横浜子ども会議の開催 (8月下旬～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各区横浜子ども会議の開催 (8月下旬～)</li> <li>第5回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (8/22)</li> </ul>

		平成30年度活動実績	令和元年度 年間計画(予定)
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (9/20)</li> <li>SNS相談窓口試行事業実施 (9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (9/19)</li> <li>SNS相談窓口試行事業実施 (9月)</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (10/18)</li> <li>第2回横浜市いじめ問題対策連絡協議会の開催 (10/31)</li> <li>横浜市いじめ防止基本方針改定 (10月)</li> <li>学校いじめ防止対策委員会 会議録様式統一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (10/17)</li> <li>第2回横浜市いじめ問題対策連絡協議会の開催 (10/30)</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (11/15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (11/21)</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止啓発月間(人権週間含む)による取組 ※実施内容は協議会で別途協議</li> <li>いじめ防止市民フォーラム 開催 (12/2)</li> <li>いじめ解決一斉キャンペーンの実施 (12月)</li> <li>第9回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (12/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止啓発月間(人権週間含む)による取組 ※実施内容は協議会で別途協議</li> <li>いじめ防止市民フォーラム 開催 (12/7)</li> <li>いじめ解決一斉キャンペーンの実施 (12月)</li> <li>第9回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (12/19)</li> </ul>
	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第10回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (1/17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第10回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (1/16)</li> </ul>
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第11回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (2/21)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第11回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (2/20)</li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第12回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (3/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第12回横浜市いじめ問題専門委員会 開催 (3/19)</li> </ul>
	連携 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校警察連絡協議会との連携(県・市・区)</li> <li>児童支援専任教諭協議会、生徒指導専任教諭協議会との連携(通年)</li> <li>校長会児童指導研究部会、生徒指導部会との連携(通年)</li> <li>中学生人権作文コンテストの実施(市民局と連携)</li> <li>横浜子ども支援協議会との連絡会(通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校警察連絡協議会との連携(県・市・区)</li> <li>児童支援専任教諭協議会、生徒指導専任教諭協議会との連携(通年)</li> <li>校長会児童指導研究部会、生徒指導部会との連携(通年)</li> <li>中学生人権作文コンテストの実施(市民局と連携)</li> <li>横浜子ども支援協議会との連絡会(通年)</li> </ul>

## 平成30年度 いじめ重大事態に関する再発防止策の取組状況について

平成29年3月31日に公表した「いじめ重大事態に関する再発防止検討委員会報告書」（以下「再発防止策」）に掲げられている8項目34の取組（別紙1）について、横浜市いじめ防止基本方針（別紙2）の徹底（防止策：6-②）を図り、学校と教育委員会事務局が一体となって進めています。「学校の取組」、「教育委員会事務局の取組」、「再発防止にかかる仕組みづくり」の3つの視点で30年度の取組状況を報告します。

### 1 学校の取組

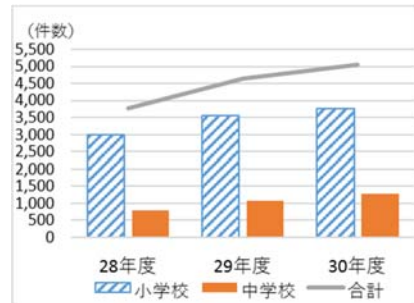
いじめ防止対策推進法では、いじめを見落とすことのないよう、いじめられた児童生徒の立場に立ち、いじめを広く捉えています。この定義を正しく理解し、学校での組織的な対応を徹底していくことが重要です。

法の定義理解や児童生徒理解等の効果的な研修を通して、学校での組織的な対応が徹底されたことで、30年度はいじめ認知件数は、2月までの暫定値ですが、前年度に比べ増加傾向（昨年同時期に比べると13.2%増加）にあります。いじめの早期発見に向け、さらに正確な認知に努めていきます。

また、認知した事案に対して、適切な支援・指導を行うことにより、早期解決につながるよう積極的に取り組んでいきます。

【いじめ認知件数】（単位：件） ※30年度は2月末までの暫定値

	28年度	29年度	※30年度	前年度比
小学校	2,985	3,566	3,767	201
中学校	791	1,083	1,281	198
計	3,776	4,649	5,048	399



### ① 児童生徒理解・法の定義理解のための教職員研修の実施

（防止策：1-③、1-⑤、2-①、2-②、2-④、6-③、8-①/方針：第2章3、第3章3）

各学校での組織対応の中心となる校長や児童支援・生徒指導専任教諭に対して、『いじめ』根絶！横浜メソッド』やその増補版を活用した児童生徒理解やいじめの定義理解の研修等を実施するとともに、いじめ重大事態の調査結果（公表版）を活用し各学校での校内研修、取組の点検へつなげました。

また、福島県へ教員を派遣し、震災後の学校や福島県の放射線教育について研修を実施し、学校において、研修での経験を生かした道徳の授業や学級活動、人権研修等を行いました。

※「いじめ」根絶！横浜メソッド…教師のためのいじめ防止・対応マニュアル

#### 児童生徒理解・いじめの定義理解

- ・校長への研修（6月）多様な視点で児童生徒を見守る校内体制づくり
- ・児童支援・生徒指導専任教諭への研修（毎月実施）
- いじめの定義、組織体制・対応の流れ、教育相談体制、地域や関係機関との連携、ネットいじめの現状と対策、等

#### いじめ重大事態の調査結果（公表版）の活用

- ・調査結果を踏まえた学校の取組の再点検

#### 放射線・被災地理解

- ・福島県での教員派遣研修（6月 61人、富岡町立小中学校、三春校・富岡校）
- ・派遣研修の実践報告（1月）



### ② 「学校いじめ防止対策委員会」による組織対応の徹底

（防止策：2-③、2-④、2-⑤、2-⑦、3-①、3-②、8-③/方針：第2章3、第3章1、第3章2、第3章3）

管理職と複数の教職員によって構成する「学校いじめ防止対策委員会」の毎月1回以上の開催を徹底し、いじめの認知、対応方針の決定、進捗管理を行い、いじめの解決に組織的に対応しました。引き続き、いじめ防止対策委員会がより効果的に行われるよう、学校を支援していきます。

また、12月のいじめ解決一斉キャンペーンでの全児童生徒を対象としたアンケート調査や、いじめが起きにくい学年や学級の風土づくり等、未然防止のための環境づくりや取組にも重点を置き、児童生徒の主体的な活動をはじめ、保護者との信頼関係の構築や地域、関係機関とも連携・協働して取り組んでいきます。

#### 【学校いじめ防止対策委員会の役割】

- ・いじめの認知（相談・報告の窓口）
- ・事実確認、指導、支援等の対応方針の決定
- ・認知している事案の進捗管理
- ・学年、学級の様子や気になる児童の情報共有
- ・未然防止のための環境づくり、取組の周知
- ・早期発見のための取組
- ・学校いじめ基本方針に基づく取組、見直し等

#### 【学校いじめ防止対策委員会の開催状況】（単位：校）

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
月1回	289	68	2	9	9
月2～3回	43	39	0	0	1
週1回以上	8	39	0	0	2
計	340	146	2	9	12

#### 【児童支援専任教諭の授業等を軽減するために配置されている非常勤職員の常勤化】

専任教諭が校内で組織的ないじめ対応の中心的役割を担うことができる条件を整えるため、後補充で配置している非常勤職員の常勤化を拡充 <H29:40校 → H30:90校 → R1:140校（うち20校は市単予算）>

### ③ 児童生徒が主体的に取り組む「横浜子ども会議」等の実施

（防止策：1-①、4-①、8-③/方針：第2章3、第3章3）

30年度の横浜子ども会議では「だれにとっても居心地のよい学校づくり」をテーマに、子どもたちが主体となり、各学校と中学校ブロックで年間を通して話し合いと具体的な取組を進めました。

8月の「横浜子ども会議」区交流会では、中学校ブロック、高校での話し合いや年間の取組について区ごとに集まり実践発表を行いました。

12月の「いじめ防止市民フォーラム」では、小・中学生が「横浜子ども会議」の取組を生かし、それぞれ学校で行っているいじめ防止の取組について発表を行い、パネルディスカッションでは保護者、教職員も加わりそれぞれの視点から話し合いました。



#### ●上郷中学校ブロック（上郷中・上郷小・庄戸小）の取組 「誰にとっても居心地のよい学校づくり」

- ・子どもサミットの開催、地区懇談会の開催、「本気のあいさつロード」の実施
- ・小・中学校、地域一体で、「みんなが笑顔で活気あるあいさつ」、「相談できる環境づくり」のあり方を検討

#### ●ろう特別支援学校の取組 「日常の中で理解し合える関係づくり」

- ・高等部では生徒会を中心に、小中高連携に力を入れ、運動会や交歓給食などの関わりを大切に取組を実施
- ・「相談しやすい環境」として、同級生だけでなく、先輩も関係なく相談をすることができる仲間づくりにつながった

#### ●六ツ川中学校ブロック（六ツ川中・六ツ川小・六ツ川台小・六ツ川西小）の取組 「SNS・携帯電話・スマホの問題に保護者・地域と共に取り組む」

- ・スマホ等のSNSの使用について、地域共通のルールを作り、家庭における約束づくりを推進
- ・学校、保護者、地域、児童生徒が協力し、安心して生活できる地域の基盤づくりを進める

## 2 教育委員会事務局の取組

教育委員会事務局に「緊急対応チーム」を設置し、いじめの早期解決を図っています。また、学校がスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）を積極的に活用することで、区役所等と連携したチームアプローチを進め、児童生徒への適切な支援につなげています。

### ① 学校教育事務所による保護者や学校への積極的支援 (防止策：5-①、5-③/方針：第2章3)

学校が認知したいじめ事案に対し、指導主事による学校訪問や課題解決支援チームの派遣など、学校の組織的対応を支援しています。また、電話・面談等により保護者への支援を行い、いじめの早期解決を図っています。事案によっては、弁護士による法律相談を活用しています。

※ 課題解決支援チームの構成

：指導主事（学校担当、課題別担当）、SSW、学校支援員  
必要に応じ、心理学、教育学等の専門家

#### 【学校担当指導主事による支援例】

学校からの連絡を受け、重篤ないじめ事案と判断した学校教育事務所の指導主事がSSWとともに、本人・保護者と直接会い、いじめの内容やつらい思いを聞いた。指導主事は学校に対し、速やかに調査をすることを指示。その調査の仕方を助言し、関係機関との連携構築を調整した。また、学校に対して、本人、保護者を入れたケース会議を定期的に行うよう提案するとともに、指導主事とSSWが会議に参加し、解決に向けて支援した。

#### 【いじめに関する検討・相談数】 30年度実績

学校への直接支援回数	531回
意思決定のためのケース・カンファレンス実施回数	400回
電話による保護者等対応回数	545回
保護者との面談回数	232回

### ② 学校では解決困難な事案に対する「緊急対応チーム」による支援

(防止策：5-②、5-④、6-①/方針：第2章3)

いじめの早期解決を図るため、課長、係長、指導主事（学校教育事務所兼務4人）、社会福祉職で構成する「緊急対応チーム」を教育委員会事務局に設置しています。

学校だけでは解決困難な事案に対し、学校教育事務所と連携し、学校訪問や専門家を活用した支援により、事態の深刻化を防ぎ、早期解決を図ってきました。30年度の緊急対応チーム指導主事の対応回数は増加傾向にありますが、緊急対応チーム会議で支援の進捗管理を行う困難な案件は減少傾向にあります。

#### 【緊急対応チーム取扱件数】 30年度実績

取扱件数		学校訪問 ※2
(カンファレンス実施)	うち支援終了 ※1	
45件	26件	48件(延221回)

※1 緊急対応チームとしての支援が終了した案件

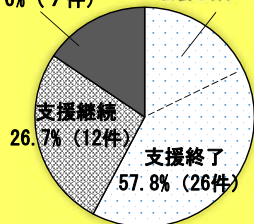
※2 学校訪問のうちSSW等の専門家同行19件(延83回)

#### 【緊急対応チームによる支援例】

学校が保護者との対話が難しくなってしまった案件において、緊急対応チーム指導主事と学校教育事務所指導主事が学校に入り、助言する一方で、学校教育事務所のSSWが学校と十分打ち合わせの上、保護者と面談し、学校との信頼関係の再構築につなげ、いじめの解消に結び付けた。

#### 【緊急対応チーム取扱件数(45件)の内訳】

重大事態調査 15.6% (7件)  
(うち重大事態調査終了：公表8件)



### ③ スクールソーシャルワーカー(SSW)を活用したチームアプローチの実施と相談窓口の設置

(防止策：4-①、4-②、4-③、4-④、1-②、3-③、8-②/方針：第2章3)

学校が区役所などの関係機関と連携して適切な支援や指導を行えるよう、社会福祉の専門職であるSSWの積極的な活用を進めています。30年度は、正規職の統括SSWを各学校教育事務所に、高校・特別支援学校担当SSWを人権教育・児童生徒課に配置することで支援体制の充実を図りました。また、地域で生活する子ども達を支えるために、社会福祉協議会や主任児童委員との連携を進めています。人材育成については、大学と包括的な協定締結に向け協議を開始しました。今年度は、学校をより身近で支援できる体制の構築を目指し、学校教育事務所に配置し支援を行う派遣型SSWから、定期的に中学校ブロックを巡回して支援する中学校ブロック配置型SSWへの移行に向けたモデル実施を行います。SSWが電話相談に応じる「学校生活あんしんダイヤル」は、開設時間を延長して対応した結果、相談件数が大幅に増加しました。今年度は、寄せられた様々な相談を分類・整理することで、保護者等への適切な対応に資するよう努めます。

#### 【SSWの支援対象人数】 30年度実績 (単位：人)

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
458	168	16	17	659

※29年度：550人(109人増)

#### 【SSWのいじめへの対応状況】

29年度：54件(うち状況改善35件、支援中等19件)

30年度：48件(うち状況改善32件、支援中等16件)

#### 【あんしんダイヤル相談件数】 30年度実績 (単位：件)

いじめ	不登校	学校との関係	養育	その他	計
66	54	90	23	41	274

※29年度：182件(92件増)

#### 【SSWによる対応例(いじめによる不登校)】

保護者は学校に適切な対応を求めていたが、学校は保護者の主訴を「いじめの事実確認」と捉え、児童への対応に至らなかった。保護者の不満は増大しあんしんダイヤルに入電。SSWは、保護者と面談し、「安心して学校に通わせたい」との主訴を確認。学校に伝え、事実確認と並行して学習環境を調整したところ、児童は登校を再開した。

#### 【SNSを活用した相談窓口】

30年度は、県と協力して、無料通信アプリを活用したSNS相談を市内中学校5校、高等学校1校で試行実施した。相談者からは高い満足感が得られており、全校実施に向けた検討を行っていく。

## 3 再発防止にかかる仕組みづくり

### ① いじめ重大事態の調査結果「公表ガイドライン」の運用等

(防止策：6-④、7-①、7-②/方針：第2章2、第4章1)

調査結果の公表について、関係当事者への影響を配慮しつつ、再発防止につなげられるよう、いじめ問題専門委員会の答申に基づき「公表ガイドライン」を運用してきました。30年度は、調査報告がまとまった8件について、本ガイドラインに基づきHP等で調査結果を公表しました。

### ② 情報共有や引継ぎのための仕組みづくり

(防止策2-⑥、2-⑦、5-③、5-⑤、5-⑥/方針：第2章3、第3章2、第3章3)

教育委員会事務局内(各学校教育事務所、人権教育・児童生徒課)における相談記録の情報を共有するシステムの構築を30年度に完了し、今年4月から稼働しています。学校では、引き続き、研修等を通じて記録の徹底を図るとともに、児童生徒の個人情報として慎重に対応することの重要性を共有していきます。今年度は共通の様式の検討も行っています。

### ③ 小学校高学年における一部教科分担制の推進

(防止策：1-④/方針：第2章3、第3章3)

30年度は「児童の学力向上」「児童の心の安定」「教職員の負担軽減」をねらいとする一部教科分担制の導入による学年経営力強化の取組を8校で実施しました。教員向けのアンケートからは、児童が学級担任以外の複数の教職員と日常的に接するようになり、相談を受ける機会が増える傾向が見受けられました。今年度は推進校を拡大しつつ、引き続き効果検証を行います。

## いじめ重大事態に関する再発防止策

再発防止策	
<b>1 児童理解</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒一人ひとりが受け入れられていると実感できる受容的な学級づくり</li> <li>②児童生徒がSOSを発信しやすい仕組みづくり</li> <li>③児童生徒一人ひとりの心理や特性を見出す児童生徒理解の促進</li> <li>④児童一人ひとりを多面的にとらえるための組織体制の整備</li> <li>⑤発達の段階に応じた児童生徒指導の徹底</li> </ul>
<b>2 校内児童生徒支援体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①放射線等に関する教育や被災地理解を進める教育の推進</li> <li>②道徳教育、人権教育の充実</li> <li>③課題解決に向けた組織的な対応力の向上</li> <li>④児童支援専任教諭の体制強化と育成</li> <li>⑤校長のマネジメント力強化と、児童支援・生徒指導専任教諭等の課題解決能力の向上</li> <li>⑥学校内での組織的な情報共有・引き継ぎの徹底</li> <li>⑦「教育を受ける権利」を補償するための支援の確実な実施</li> </ul>
<b>3 保護者との関係構築</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者との日常的なコミュニケーションを図る学校体制づくり</li> <li>②保護者からの相談への組織的な対応</li> <li>③学校外の相談窓口の効果的活用</li> </ul>
<b>4 関係機関との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係機関（多機関）との連携強化</li> <li>②スクールソーシャルワーカーの体制強化</li> <li>③スクールソーシャルワーカーの人材育成</li> <li>④チームアプローチ体制の整備</li> </ul>
<b>5 教育委員会事務局の児童生徒支援体制のあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育事務所による積極的支援</li> <li>②緊急対応チームによる支援</li> <li>③ケースカンファレンス等による組織的判断の確実な実施</li> <li>④迅速な専門家の派遣</li> <li>⑤専門相談との情報共有</li> <li>⑥いじめ事案の継続的な状況確認</li> </ul>
<b>6 いじめ調査方法のあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校・学校教育事務所・教育委員会事務局の連携による重大事態調査の判断</li> <li>②「横浜市いじめ防止基本方針」の改正を踏まえた再発防止策の推進</li> <li>③研修・説明会による制度周知や事例検討による法の確実な運用</li> <li>④早期解決に向けた調査体制の拡充</li> </ul>
<b>7 調査結果の公表のあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調査結果公表における個人情報保護関係法令の遵守</li> <li>②調査結果公表ガイドラインの作成</li> </ul>
<b>8 いじめの定義の理解</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①より効果的な研修の工夫</li> <li>②いじめの申し立て窓口の設置</li> <li>③保護者や地域に向けた学校の取り組みの発信</li> </ul>

○横浜市いじめ防止基本方針

第1章 いじめの防止等のための対策の基本的な考え方	
1	いじめの定義
2	いじめの防止等の対策に関する基本理念
3	横浜市いじめ防止基本方針策定の目的
4	いじめ防止に向けた方針
第2章 いじめの防止等のために横浜市が実施する施策	
1	横浜市いじめ問題対策連絡協議会の設置
2	横浜市いじめ問題専門委員会の設置
3	教育委員会の取組
	(1) いじめの防止・早期発見に関すること
	(2) いじめの対応に関すること
	(3) 学校評価、学校運営改善の実施
4	市長部局の取組
5	いじめ防止対策の点検・見直し
第3章 いじめの防止等のために学校が実施すべき施策	
1	学校いじめ防止基本方針策定への考え方
	(1) 策定意義
	(2) 内容
	(3) その他
2	学校の組織づくり
	(1) 未然防止
	(2) 早期発見・事案対処
	(3) 取組の検証
3	学校におけるいじめの防止等に関する取組の具体化
	(1) いじめの防止
	(2) 早期発見
	(3) いじめに対する措置
	(4) いじめの解消
	(5) 特に配慮が必要な児童生徒
	(6) 学校運営協議会等の活用
第4章 重大事態への対処	
1	重大事態の発生と調査
	(1) 重大事態の意味
	(2) 重大事態の判断
	(3) 重大事態の報告
	(4) 調査の趣旨及び調査主体
	(5) 調査を行うための組織
	(6) 事実関係を明確にするための調査の実施
	(7) その他留意事項
	(8) 調査結果の提供及び報告
2	調査結果の報告を受けた市長による再調査及び措置
	(1) 再調査
	(2) 再調査を行う機関の設置
	(3) 再調査の結果を踏まえた措置等



## 1 趣旨

本市においては、「横浜市いじめ防止基本方針」に基づき、社会全体でいじめ根絶を目指し取組を進めており、その基本方針において、12月を「いじめ防止啓発月間」と位置づけています。

この啓発月間の取組をより効果的なものとするため、6月に開催された「第1回横浜市いじめ問題対策連絡協議会」において合意された、啓発月間における市全体での協働の取組を実施します。

## 2 実施期間

令和元年12月1日（日）から31日（火）までの1か月間

## 3 実施内容

### （1）いじめ防止に向けた「のぼり」「ポスター」の活用

12月の「いじめ防止啓発月間」のシンボルとして、いじめ防止に向けた「のぼり」や本年度作製した「いじめ防止啓発ポスター」を啓発活動に活用することにより、活動を活性化させ、全市におけるいじめ防止の取組を推進します。

\*今年度、「のぼり」は新たに作成

#### 【のぼりの活用】

- ・全市立学校で、あいさつ運動や朝会での活用や昇降口等へ掲示
- ・いじめ問題対策連絡協議会に係わる関係機関・団体や市庁舎、区役所等での掲示など、いじめ防止に向けた啓発に活用



ポスターは H30 年度版

#### 【ポスターの活用】

- ・全市立学校及びいじめ問題対策連絡協議会に係わる関係機関・団体、市庁舎・区役所等に、「いじめ防止啓発月間」を中心に掲示し、いじめ防止に向けた啓発活動に活用予定
- ・B3版（11月上旬配付予定）

### （2）市営地下鉄での啓発

横浜市営地下鉄ブルーラインの車両ドアの上にある情報装置に広告を掲出し、いじめ防止の啓発を図ります。

『12月は横浜市いじめ防止啓発月間です。～文言は検討中～』

◆横浜市いじめ問題対策連絡協議会◆

### (3) 「いじめ防止市民フォーラム」の開催

12月の「いじめ防止啓発月間」の取組の一環として、子どもの健全育成に係る関係機関と協働で、いじめ防止に向けた「いじめ防止市民フォーラム」を開催することにより、いじめ防止の啓発を広く市民に広報します。

#### ア 開催日時

令和元年12月7日(土) 13:00～15:00 (受付12:30)

#### イ 開催内容

テーマ(案)

#### ● 「いじめに対して『自分』は何ができるのだろうか」

～子どもや大人、そして地域、関係機関等とのつながりから考える～

#### 【テーマについて】

「いじめ防止市民フォーラム」を開催してから6年目となる。各学校や小中学校ブロックでは、横浜子ども会議等を通して、子どもたちの取組は、実態に応じて様々行われている。具体的になってきた取組に対し、取組むこと自体が目的になっていたり、何のための活動であるかが見えにくくなっていたりする現状が見られることから、現状を見直していく時期にきていると考えられる。

今、ここで、子ども会議を通しての子どもたちの取組、関係機関の取組等を知り、その上で、子どもの「心」を育むために、具体的に何ができるのかを見つめ直し考えていきたい。自尊感情を育んだり、他者の思いに寄り添う心情を育てたりするには、子どもの周りでその育ちを見守る大人や地域が何ができるのかをともに考え、現在行動している取組を一層深めることができる機会にしたい。

#### 【次第】

- 1 開会
- 2 主催者挨拶 (会長)
- 3 教育委員会挨拶 (教育長)
- 4 横浜子ども会議の取組から  
小中ブロック、特別支援学校、高等学校の取組に関する実践提案
- 5 関係機関の取組
- 6 講演 白梅学園大学 牧野 晶哲准教授
- 7 閉会

#### ウ 場所

南公会堂 横浜市南区浦舟町2-33 南区総合庁舎内

#### エ 主催

横浜市いじめ問題対策連絡協議会

#### オ 備考

「いじめ防止市民フォーラムのお知らせ」をポスターの横に掲示する

**令和元年度 いじめ問題対策連絡協議会 年間予定**

月 日	時 間	内 容
6月5日(水)	15時~17時	第1回 いじめ問題対策連絡協議会 場所：関内駅前第一ビル
10月30日(水)	15時~17時	第2回 いじめ問題対策連絡協議会 場所：関内駅前第一ビル
12月		いじめ防止啓発月間における取組 (のぼり、ポスター等)
12月7日(土)	PM	いじめ防止市民フォーラム 場所：横浜市南公会堂